

2020年8月16日（日）聖霊降臨後第11主日 銀座教会 主日家庭礼拝

礼拝招詞

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイ5：9

主の祈り

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、
処女(おとめ)マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、
全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

讃美歌 71 つくりぬしよ

聖書 マタイによる福音書25章14～30節

14「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。15 それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。早速、16 五タラント預かった者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。17 同じように、二タラント預かった者も、ほかに二タラントをもうけた。18 しかし、一タラント預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。19 さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。20 まず、五タラント預かった者が進み出て、ほかの五タラントを差し出して言った。『御主人様、五タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントもうけました。』21 主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』22 次に、二タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、二タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントもうけました。』23 主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』24 ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、25 恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠して／おきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』26 主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。27 それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。28 さあ、そのタラントをこの男から取り上げて、十タラント持っている者に与えよ。29 だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。30 この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』」

牧会祈祷

天の父なる神さま、あなたの御前に立つことを赦され、十字架の主イエスを仰ぐ礼拝に招かれたことを感謝いたします。あなたの御名を呼ぶ事の出来る幸いを感謝いたします。私の思いではなく、あなたの御心を第1として礼拝を献げます。

8月を迎えました。私たちは、戦争の悲劇を忘れることなく平和を求めます。人間の罪深さ、私たちの罪深さを思います。あなたの御言葉によって、私どもの自己中心な心を打ち砕き、あなたの御顔を仰ぐ者としてください。

被災地のために祈ります。真の希望を与える神を仰ぎ、助け手が与えられ、復興の道を進む力をお与えください。夏の期間、夏期伝道実習生の日々をお導きください。教会学校の子どもたち一人一人が将来に向かって、大志を抱き、大切な学びを深めることが出来ますように、学ぶ環境が整えられますように祈ります。

私たちの礼拝が一つの礼拝となり、神の御名をほめたたえられますように、聖霊の導きをお祈りいたします。主イエス・キリストの御名を通してお祈りいたします。 アーメン

説教 「神の僕として生きる」

牧師 高橋 潤

主イエス・キリストは天国のたとえとして「タラントンのたとえ」を語りました。天国とは、主人から託された財産を僕が用いることだと語ります。この地上に生かされている私たちが思い浮かべる天国は、どのようなところでしょうか。私たちが想像する天国は、極楽浄土、地上の生活の苦しみから解放され働かないで生活出来る所と考えていないでしょうか。しかし、主イエスが語られた天国は、主人、すなわち神さまがご自身の財産を人々に託され、人々は神の財産を用いて働いて生きるのです。この地上を生かされている私たちが、神さまに与えられた命を預かって生きているように、神さまが御支配している天国では、神さまの財産を具体的に用いることが求められています。時が来ると、天国の僕たちがそうであるように、主の前に立ち決算報告を求められるのです。その時、私たちが神さまから与った神の財産をどのように用いたかが明らかになるのです。神さまから与っている財産を用いているかどうか、問われているのです。

天国では、私たちは神の僕（しもべ）です。そして神は私たちに神の大切な財産を託されます。主人は三人の僕を呼んで「そのぞれの力に応じて」各タラントンを預けて旅に出かけました。5タラントン預かった僕も2タラントン預かった僕も「商売」をして倍に増やしました。主人のタラントンをういて商売して、財産を減らした僕は一人もいません。主人の財産であるタラントンは、用いると必ず増えるようです。しかし、もう一人の僕は、預かった1タラントンをういずに、土の中に埋めておきました。

かなり日がたってから主人が帰ってきて清算をはじめます。主人のタラントンをういてもうけた僕は、主人から「忠実な良い僕」とほめられました。そして預けたお金と儲けたお金の全額を引き続き管理するように命じられ、「おまえは少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう」との言葉をいただき、主人と共に喜びを分かち合うこととなりました。天国とは主人の財産を用いて、喜びを分かち合う所なのです。

このたとえ話の主人公ともいえる、主人の1タラントンを土の中に埋めた僕は、天国の主人を「蒔かないところから刈り取り、散らさないところからかき集められる厳しい方だと」受け止め「恐ろしくなって地中に隠しておいた」と言います。

1 タラントンは、約二十年分の年収にあたる金額です。すなわち、主人はこの1 タラントン預けた僕に対して、決して小額の金を託したのではないのです。1 タラントン分しか期待していなかったということでも、彼を信頼していなかったということでもないと思います。主人はこの僕に対しても、他の僕と同様に期待し信頼して大金を委ねたのです。しかし、この僕はその主人の心を理解し受け止めることも期待に応えることもできませんでした。

託されたお金は本来主人のもので、僕は、主人のために仕事を行い主人の財産を用いるのです。主人から託された財産を自分の財産であるかのように誤解して、何のために使っても良いと考えてはなりません。託された主人の期待や信頼を無視して、財産をそのまま返せばいいと言えないでしょう。神から預かった命を神と全く関係がないかのように生きて良いのでしょうか。そのような生き方は、神の僕と言えるのでしょうか。

神の財産以外の自分の財産で十分生きて行くことが出来ると言えるのでしょうか。神の財産以外の財産で生きていけるとしたら、神の僕ではなくなるのではないのでしょうか。

現在、私たちに与えられている神の財産は、神の御心のために用いる、それが僕としての生き方です。神は私たち一人一人を信頼し、ご自分の最も大切な財産を預けて、ご自身の働きを進め、喜びを分かち合うお方なのです。この神の信頼と喜びを受け止めず、主人と僕という関係だけで考えるならば、私たちにとって主人は労働者を搾取する使用者としか映らないのです。しかし、天国の主人である神は、私たちのために最も大切な御子の命まで与え尽くして、赦しの道を開くお方です。この神の御心に応えて第一歩を進めましょう。父なる神は、私たち一人一人を神ご自身の喜びの中に招き入れようとしているのです。

一タラントン預かった者の言い分を聞きましょう。『御主人様、あなたは蔭かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、25 恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントンを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』

主イエス・キリストは、私たちに不当な年貢を取り立てるようなお方ではありません。神の絶対的な権威と力を振りかざして、私たちを奴隷のように働かせ、役に立たなくなったら使い捨てるような支配者ではないのです。そうではなく、私たちが真の神のもとで生きる事が出来るように、愛と信頼をもって、ご自身の最も大切な御子の命を託してまでも私たちを信頼し私たちを右腕としてくださり、関わってくださるお方なのです。

26 主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蔭かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。27 それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。』

主人は私たちが神から預かった財産を銀行に入れておくことをもってでもお赦しくださるお方であることが示されています。その上で、神から預かったタラントンを土に埋めることは、怠け者の悪い僕なのです。神が私たちにお与えになったものを用いることによって、神との関係ははじまるのです。

私たちが神から預かっているタラントンは、第一に信仰です。神を信じ、主のために生きることこそ神の喜びに招き入れられることです。第二に神のタラントンとは希望です。どんな状況の中でも神の僕としての希望を確認して生きます。第三にタラントンは隣人を愛する愛です。神のタラントンをを用いる者は自己中心の罪から救われるのです。私たちは神のタラントンを信仰、希望、愛によって用いることが出来るのです。

私たちは、人生の総決算の時、『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実

であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』という主人の声をお聞きしたいと思います。私たちに与えられた祈り、賛美は、神さまから預かったタラントンを増やしている事ではないでしょうか。私たちには、託された神の財産が増えている実感がないかもしれません。しかし、神さまから与えられた恵みを感謝して生きる信仰生活によって、神の財産は減ることはありません。用いれば用いるほど増えるのです。

主人である神さまと一緒に喜ぶ日を楽しみに、神さまの御心に応答する道を歩みましょう。
祈り

天の父なる神さま。145年に亘る銀座教会の伝道に絶えず先立って導いてくださり感謝いたします。私たちの先達を用いて伝道を進めたように、今日から、私たちを用いてくださることを感謝いたします。私たちが十字架のキリストを見つめながら、福音を語る者として用い、導き、あなたの御名をほめたたえさせてください。福音を必要としている大勢のあなたの民に福音を届けさせてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

祈 禱 (各自、自由にお祈りください)

祈禱課題 銀座教会創立 130 周年をおぼえて
今年度の役員、職員のために
三宅島伝道所と礼拝に集う人々を覚えて
教会学校の子どもたちのために

讚美歌 II 5 8 いかなればきみはかく

献 金

頌 栄 5 4 4

祝 禱 主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン